

留萌市議会だより

議会です、 こんにちは

◇ 主な内容 ◇

こんなことが決まりました

市政のここが聞きたい

決算審査特別委員会

委員会活動

傍聴席

編集後記

こんなことが決まりました

第3回定例会(9月13日から27日)で可決された議案等(15件)意見書等(3件)(報告、認定、選挙)の主なものは次のとおりです。

議案

- 平成17年度留萌市一般会計補正予算(第3号)
- 平成17年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成17年度留萌市病院事業会計補正予算(第1号)
- 留萌市税条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市児童館条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市子育て支援センター設置条例の一部を改正する条例制定について
- 財産の取得について
- 工事請負契約の締結について
- 留萌市公平委員会委員の選任について(2件)
- 留萌市教育委員会委員の任命について(2件)
- 留萌市監査委員の選任について
- 健康都市宣言について

報告

- 留萌市土地開発公社の平成17年度事業計画に関する書類の提出について
- 専決処分の報告について(平成17年度留萌市水道事業会計補正予算について)

- 専決処分の報告について(損害賠償について)
- 専決処分の報告について(平成17年度留萌市一般会計補正予算について)

認定

- 平成16年度留萌市各会計歳入歳出決算の認定について
- 平成16年度留萌市水道事業会計決算の認定について
- 平成16年度留萌市病院事業会計決算の認定について

意見書

- 自治体病院の医師確保対策を求める意見書
- 自治体財政の充実・強化を求める意見書
- 個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書

諮問

- 人権擁護委員の推薦について

選挙

- 留萌市選挙管理委員会委員及び補充の選挙について

市政のここが聞きたい

一般質問

市民連合

坂本守正議員

- 一、留萌市における介護予防について
- 二、地域提案型雇用創造促進事業の取り組み

一、介護保険が対応できるのは、対処療法的な面であり、もつと基本的な点は、要介護にならないよういかに工夫するかが重要である。そのためには自治体や民間の福祉ボランティア団体や、民間の福祉ボランティアが果たす役割が求められる。留萌市独自の高齢者の介護予防の観点から要介護にいたらないための計画化と後方支援対策が必要だ。

二、雇用情勢の厳しい中において、地域の雇用創造をより効果的に行うため、地域の自主性、創意工夫ある取り組みを国が支援する制度の地域提案型・雇用創造事業の取り組みの経過と現状はどうか。

坂本議員への答弁

一、留萌市として高齢者が元気に長生きしてもらおうこと

一、財政危機克服のために財政赤字と、行政と住民の信頼という二つのハードルを越えなければならぬ。特に、行政と住民の信頼関係をどう築くかが財政改革の最大のテーマと思うがどうか。

二、信頼関係構築のための課題として、行政自身による自己点検ではない、住民の視点からの行政評価の導入・監査制度の充実についてどう取り組むか。

無会派

沢出 隆議員

- 一、行政と住民の信頼関係について
- 二、教育委員会の組織機構改革について

一、財政危機克服のために財政赤字と、行政と住民の信頼という二つのハードルを越えなければならぬ。特に、行政と住民の信頼関係をどう築くかが財政改革の最大のテーマと思うがどうか。

二、信頼関係構築のための課題として、行政自身による自己点検ではない、住民の視点からの行政評価の導入・監査制度の充実についてどう取り組むか。



神居岩スキー場の存廃は

萌政会

近藤明美議員

- 一、樺太引揚三船の資料収集と慰霊の取り組み
- 二、神居岩スキー場の存廃

一、樺太引揚三船殉難の悲劇がふたたび起きる事がないように、戦争の悲惨さと平和の願いを留萌から訴えるため、今後も積極的に資料収集をおこなってはどうか。また、今年から戦没者追悼式と合同で実施された三船慰霊祭を独自に開催する取り組みができればどうか。

二、市の財政再建のため、神居岩スキー場は廃止の方向との方針が打ち出されている。しかし、スキー競技は学校教育を通して人間形成に大きな役割をはたしている。関係団体と教育的見地から存廃についても慎重に話し合うべきではないか。

近藤議員への答弁

一、小平・増毛にも資料がある。一カ所に資料を集められない場合でもデータを整理し情報の提供をしたい。将来とも平和を祈る、平和を追求する点では同じであり、独立した慰霊は難しいとの遺族の意向を踏まえて合同実施している。

二、神居岩スキー場のリフトや支柱は古くなっており保安基準が満たされなくなった場合、かなりの投資が必要だ。今後、スキー授業をどうするか、関係者、子供たち、保護者を含めて議論すべきだ。スキーに

村山議員への答弁

村山ゆかり議員

- 一、開示請求は十五年度一件、十六年度二件と極めて少ない理由として、広報紙・FMもえるホームページなど情報を知り得るチャンネルが増えたことが挙げられる。
- 二、情報コーナーは物理的問題もあり、今後改善策を検討する。アンケート調査を踏まえて効果的な広報を検討していく。

一、現在七人が応募している。将来ビジョンについては夢のあすばらしい、市民であれば本当に自分ですらという意識が広がればよい。第三者的立場の評価は必要であり、他の自治体も調べた上で機関を作りたい。



市の財政再建は

萌政会

村山ゆかり議員

- 一、市政に関する情報公開について
- 二、事務事業に関する市民評価について

を眼目に、ボランティアの方と協力しながら様々な事業に取り組んできた。これからは地域の方々と支えあうための地域支援事業を創設し、転倒骨折の防止・栄養指導・うつ病の予防などを実施し、元気に事業展開していききたい。

二、地域提案型の雇用創造支援事業にどの程度の効果があるかは懐疑的な気持ちはある。地域全体で一致協力して取り組む体制をつくる。協議会をつくる方向で取り組んでいる。

年度内提出を最大の努力をしていく。



ハローワーク留萌(地域雇用の拡大を)

萌政会

珍田亮子議員

- 一、留萌市の行財政について
 - 二、留萌市の環境政策について
- 一、道の財政状況が危機的状態となつているが留萌市への影響を知りたい。市の財政再建については、法再建のシミュレーションを示して公債費の削減を検討すべきである。わかりやすい財政情報を提供する必要がある。自治基本条例制定にどう取り組むのか。検証は行われたのか。
- 二、地球温暖化対策についてどう取り組む。環境ISO1

土木費

Q 老朽化した市管住宅に政策あき家がある。どう対応するのか。

A 現在の管理戸数は千四百十戸だが、将来は一千戸程度に縮小したい。借り上げ公住を拡大し、戸別改善などの住宅政策を進めたいがそれだけでは老朽住宅を集約できない面がある。福祉施策などと組み合わせ対応していきたい。

Q 十八年度は借り上げ公住を建設するのか。

A 春日町の老朽住宅二〇戸をマチに誘導したい。借り上げ公住と位置付けており、すでに十六戸建設しているが、十八年度は一棟八戸を検討している。

Q 日東団地の緊急避難道路について、市の整備方法の考え方は変わったのか。

A 基本的姿勢は変わっていない。地権者との話し合いは今後も続ける。地権者との関係が悪く、すぐに解決する見通しがたない。他の方法も考えてもいいのではと、思っている。

Q 今後の日東団地避難道路の要望書の取り扱いをどうするか。地域住民への説明はどうか。

A 基本的には住民の要望にそって対応する。しかし、解決の保証がない中で一本の道路にこだわるよりも複数の

教育費

道路を考えてもいい。雪が降る前に解決したいと思っている。

Q 温水プールふるもは指定管理者制度に移行するのか。会員制度のような管理方式はどうか。

A スポーツセンターを含めて十八年度に移行できるか検討していく。市民全体でスポーツ施設を守るということに賛成である。会員制も検討課題にしたい。

Q 温水プールの活用について利用者の声をきいているのか。

A 生きがいづくり生涯学習促進事業を開催した際、プール教室受講者をパネラーとして健康効果について話してもらった経緯がある。

Q 「子供と親の相談事業」は今後どうするのか。

A 市内の小中学校では、現在五名の支援ボランティアが授業の介助員として活動している。今後は長期的な学校支援体制や相談員配置が重要と考える。

Q 学校給食の管理と食に関する児童・生徒への指導を担うということになっていくがどうなっているか。

A 留萌市としては、十八、十九年に栄養教諭の免許取得講習があるのでその後、

歳入

二〇年度から実施の予定である。

Q 十七年度より図書ボランティア制度が推進されているが、計画配置を含め、今後の考え方を聞きたい。

A 学校の図書館整備や児童・生徒の読書活動の推進、学習環境の発展、寄与などを考えている。

Q 未済額の処理はどのように行われているのか。

A 地方税法に基づき、督促状、催告状を数回送付する。放置された場合は不動産などの実態調査を行いながら、差し押さえに踏み切り、最終的には現金化して税金に充当する。

Q 十六年度収支は赤字となった。医療費の自然増及び近年の景気低迷による国保税の収納率低下以外に原因はないのか。

A 景気の低迷や企業の倒産、人員削減がある。その外に社会保険から国民健康保険に移動するケースがある。

特別会計

Q 国民健康保険事業

A 十六年度収支は赤字となった。医療費の自然増及び近年の景気低迷による国保税の収納率低下以外に原因はないのか。

A 景気の低迷や企業の倒産、人員削減がある。その外に社会保険から国民健康保険に移動するケースがある。

Q 水道事業会計

A 留萌ダムにより将来は受益者負担の増が見込まれる。どの程度になるのか。留萌ダムの必要性を説明するべきでは。

Q 現在増毛からもっているのは表流水であり川の水である。市が単独で水源を確保するための浄水施設をつくる場合の負担ははるかに多額となる。留萌ダム事業に参画しながら、負担金を支払っている状況である。

Q 研究研修費のうちで看護師に使われた研修費はどの程度か。看護師の研修費は十分配慮すべきである。

A 看護部門では研究雑費として三十四万二千円が使われている。患者に密接に関わる看護師の教育は非常に大切である。厳しい予算であるがこれからも配慮する。

Q 運転資金の調達が苦しい中、未収金の管理は今後適切な対応が必要だが、未収金は増加傾向にある。要因は景気低迷による支払い困難者の増加である。臨戸徴収の専門員を配置し、対応していくか。

A 悪急性期病床を増やすのに十六床を導入した。来年度の診療体制を見極め、増やすかどうか判断する。病床数は縮小も念頭に柔軟に対応していく。

Q 悪急性期病床を増やすのに十六床を導入した。来年度の診療体制を見極め、増やすかどうか判断する。病床数は縮小も念頭に柔軟に対応していく。

病院事業会計

Q 留萌市立病院の入院患者の平均在院日数はどうなっている。六五歳以上の高齢者の入院患者の退院時の介護申請は何名くらいいるのか。

A 患者の平均在院日数は十七・一であり、年齢ごとの入退院の患者数の統計は取っているが、介護申請の統計はとっていない。

Q 市立病院の受益自治体に現状をPRすべきだ。負担は求められないのか。

A 一部事務組合が経営すれば構成市町村が負担することになるが、現状ではあり得ない。

Q 病院の累計赤字は一〇億四八〇〇万円にという厳しい状況になっている。どのような認識をもっているのか。

A 婦人科、形成外科の派遣が途絶え、十七年度は耳鼻科、皮膚科にも影響している。医師確保の方向性を考えるなければならない。新病院建設に伴う医療機器の起債償還は十八年度に終了し返済額は減る。経営健全化計画の見直しは早くても四月五月になる。

委員会活動

総務文教常任委員会
民生常任委員会
産業・建設常任委員会

◆総務文教常任委員会

(七月二十三日開催)
(総務部)
行政改革の推移及び第四次留萌市行政改革実施計画進捗状況
平和祈念式典
市税・市税外収納状況及び平成十七年度収納率向上対策
公共用地プロジェクト委員会の検討結果に基づく土地の取扱

(企画財政部)
留萌市財政再建推進委員会
(第一回、第二回)における委員会からの意見等
(教育委員会)
「留萌市学校評価システム」の実施に関する報告
いじめ・不登校の状況の推移
休日(土・日)における子どもたちの動向に関する調査結果

(八月二十九日開催)
(総務部)
留萌市民防災訓練
留萌市定員適正化計画
医師住宅の整備計画(用地買収)
(企画財政部)
留萌市の広報活動の改善に向けた取組み
第五次総合計画と自治基本条例に向けた市民会議の公募要領
留萌市第四次総合計画の検証

◆民生常任委員会

(七月二十五日開催)
(生活福祉部)
千鳥児童センター交通安全教室における事故
美サイクル館固形燃料化処理施設の白煙発生
環境基本計画
地域福祉計画の進捗状況
未広児童館の廃止
介護保険制度改正の概要
(市立病院)
医療費着服事件の再発防止
平成十七年六月末の患者数及び経営状況

(八月二十九日開催)
(生活福祉部)
平成十七年度補正予算
平成十七年第二回国民健康保険運営協議会提出資料
人権擁護委員の推薦
アセスメント問題
指定管理者制度
留萌市児童館条例の一部改正
留萌市子育て支援センター設置条例の一部改正
健康都市宣言
(市立病院)
平成十六年度病院事業会計決算の状況
平成十六年度健全化計画の実施状況
医師住宅の整備計画(用地取得)
平成十七年七月末の患者数及び経営状況

◆産業・建設常任委員会
(九月一日開催)
(経済交流部)

傍聴席

市民アイビー会
大澤 裕子

各所管施設のアセスメント対策について説明があった。
農林水産課より、管内米田区域出荷施設建設に向けての要請についての説明があった。
経済振興グループより、サハリン留萌展の内容と九月補正予算概要の説明があった。
港湾課より、三泊・塩見地区住民アンケートの集計結果について報告があった。
(都環境部)
建築指導課より、市営住宅共益費改正の説明があった。
都市環境部より、医師住宅の整備計画の説明があった。

在留萌五年目の今年、初めて市議会傍聴の機会を得ました。珍しく夏が運しく長かった今年でしたが朝夕少し涼風を感じた九月二十一日、アイビー会の仲間達と所定の席に。こじんまりとした議場で、質疑の模様が、多分、大層身近に何えるだろうと期待しましたが、意外にとっても、遠い声でありました。私達グループの予定の設定上、唯一一人の議員の質疑のみを傍聴しただけの状況で、この様に記すのは適当ではない事を承知の上で敢えて感じた事を述べましよう。

先ず、もう少し、簡潔「明瞭」な質疑がおきき出来たらよかったですと感じました。

質問にも、答弁にも、内容の深刻さや、それを克服又は解決せねばならない苦悩をも含んだ「切実」な情

熱を感じられなかったのは私一人だけでありました。どうか。

選挙の時の、あの真剣な「情熱」の何分の一でも、を、質疑の中(内)に感じる事が出来たら……。

市民の一人として真剣に一票を投じた私としては、議員席での、議員の方の長い私語も、大変気になりました。

他の方(人)の重要と、私は思います(な)発言の最中に平気で私語を交す何人かの議員へ、議場マナーの再考を……と私考しました。

教室で教師の話を無視、又は無関心事としてさわく子供達を叱る資格のない大人が、我々の選んだ良識の代表では、かなしいのです。

傍聴者は、見物人ではありませんが、すくなくとも私は「議会見物」に貴重な時間を割いたのではありませぬ。私達の選んだ方々が私達の代表、代弁者として、市政に苦悩し、発案し、よりよき解決の途を模索する姿に接したかったのです。

市は今、何に苦しみ、それがどの様に解決しているかとして、どの様に心がか、お手伝いすればよいのか。住まわせて頂いている、まちが、かかえる問題を正しく認識し、常に前進し伸張すべくあらねばならぬ。市政は、どうぞ私達市民の心の近くに存在して欲しいと念うのです。

出来る限り今後も、一人でも多くの議員の方の質疑の模様を傍聴させて頂くと思っています。

そしてこの初体験の日の小さな失望は、私の杞憂であったと、実感したいと思っております。

懐む市を誇りとし、感謝して日々を送りたいために、専断な言辞を記しましたことを関係各位に深くお詫びし筆を擱きます。

編集後記

今、るもい市内の中で話題になっていることがいくつかあります。その1つは長沼市長が4選不出馬を表明したことであります。2つ目は留萌市の公債費の平準化であります。市の将来にまちがった方向に行かない様私達もしっかりと勉強しなければなりません。3つ目は底冷えのする留萌経済であります。灯油、ガソリンさらには諸物価の値上げなど、きびしい寒い冬を迎えようとしています。この様な状況を一刻も早く脱却するためみんなで知恵をしぼり頑張ろうではありませんか。(江沢 記)

議会広報特別委員会

委員長	石 塚 正 寛
副委員長	村 上 均 子
委員	村 田 亮 順
委員	江 沢 千 鶴
委員	菅 原 千 鶴
委員	菅 本 千 鶴

